

<ゲストスピーカー>

吉田 剛氏

奈良市立済美小学校教諭。福島県双葉郡楢葉町出身。

発災時は福島県の小学校に勤務。4世代家族の避難経験も持つ。

鈴木 ひかる氏

奈良女子大学4回生。福島県出身。東日本大震災の発生時は中学3年生。

避難後、地元に戻り福島県立相馬高等学校を卒業。

2011年3月11日、東京電力福島第一原子力発電所で過酷事故が発生して6年が経過しました。関西地方では、メディアに取り上げられる機会が少ないためか、「もう終了した」感があるのも事実でしょう。

私たちは、あの事故から何を学ぶことができるのでしょうか？

今回は、事故当時、福島県内に住んでおられた2人のゲストスピーカーをお招きし、事故当時の混乱、避難状況といった、当事者ならではの情報を提供していただき、それをもとに、自分たちの暮らしの大切さ、子供たちに伝えたいことについて考え合う機会としたいと考えています。

【日時】 7月5日(水) 19:00 ~ 20:30

【会場】 奈良教育大学
次世代教員養成センター2号館 多目的ホール

※お車でお越しの方は、守衛室で「連続公開講座に来た」旨伝えていただき、入講カードをお受取りください。

【対象】 本学学生、現職教員の方、ご関心のある方

【参加費】 無料 ※参加ご希望の方は、下記連絡先までご連絡いただけますと、資料の準備等する上で助かります。



子どもの前に立つあなたに聞いてほしい
〜福島第一原子力発電所事故を通して〜

【主催】 奈良教育大学、奈良教育大学ESDコンソーシアム

【後援】 奈良市教育委員会、奈良県教育委員会

【参加申込み・問合せ】

奈良教育大学 ESD・国際交流オフィス

担当：川村・辰巳

TEL & FAX：0742-27-9177

E-mail：jizoku@nara-edu.ac.jp

平成29年度 奈良教育大学ESDコンソーシアム

第2回 学ぶ喜び・ESD連続公開講座

グローバル人材育成を見据えたESDコンソーシアムの構築と

ユネスコスクール間交流によるESDの推進

—国際(Think globally)と国内(Act locally)の融合—